

## 2019年 謹賀新年



福岡県労協  
理事長 西村 芳樹

新年明けましておめでとうございます。旧年中は福岡県労協に対しまして格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

福岡県労協は、その名のとおり、労働者の福祉を目的とする団体で、事業を進めるにあたっては、連合、ろうきん、全労済、生協連などの労働団体や労働福祉団体と連携して労働者の福祉向上に努めております。また、公益目的事業を着実に推進するため「ライフサポート事業・ふくおか」を中核にして、働く人たちのための労働・生活相談事業の充実を図ってまいりました。

また、昨年は、中央労協による全国福祉強化キャンペーンの一斉行動として、奨学金制度改善・教育費負担軽減の取り組みを展開しました。福岡県労協は、「奨学金制度や教育費負担に関するアンケート調査」、「奨学金制度に関する一斉相談会」等を実施し、地域、社会へアピールするとともに、世論喚起による教育費の負担軽減に向けた制度改善に繋げる取り組みを行いました。

おかげさまで、会員団体をはじめ、多くに関係諸団体の皆様には、ご協力・ご支援を賜り、多くの方々からアンケート調査の回答を頂くなど大きな成果をあげることができました。ありがとうございました。

今、日本においては、あらゆる世代・層で格差と貧困が拡大し、富を持つものと持たないものの二極化が進行して大きな問題となっています。さらには、異質なものを排除し、多様性を否定するような風潮が生まれ、社会の分断をもたらしつつあります。

この貧困や分断されつつある社会を再生するためには、雇用の安定、賃金の引き上げ、社会保障の充実などの強化を進めるとともに、生活困窮者自立支援制度など社会的セーフティネットの確立が必要です。

福岡県労協は、そういった課題を克服するため、今年も様々な団体とネットワークを広げ、私たちが取り組んでいるライフサポート事業を中心に、働く人・地域の人たちの拠り所として、さらに機能を強化する取り組みを展開していきます。

本年も、労協が目指す「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」実現に向けて、共に頑張りましょう。



労働者福祉中央協議会  
会長 神津 里生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、中央労協の諸活動にご協力をいただき、ありがとうございました。お陰様で、給付型奨学金制度の本格実施や生活困窮者自立支援法の改正などで前進がありました。今年度も引き続き残された課題の達成に向けて、教育費負担の軽減、貧困・格差の解消やセーフティネットの拡充などをめざして取り組んでまいります。引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さて、中央労協は本年、結成70周年という節目の年を迎えます。これを機に、組織の枠を超えて「福祉はひとつ」で結集した創生期の初心を思いおこすとともに、労働者福祉運動の今日的な意義を明確にし、次の世代へと運動を継承していかなければなりません。このため、10年前に策定した「2020年ビジョン」の検証、見直しの組織討議を行い、次の10年を見据えたビジョンづくりに取り組みます。

私たちは今、混沌とした時代や社会を生きています。貧困や格差はより深刻化し、社会の至るところで分断が生じ、多様性を否定するような動きも強まっています。少子化、貧困の連鎖、環境問題など、社会の持続可能性の危機はさらに高まっています。

一方で、「誰ひとり取り残さない」という国連SDGsの取り組みや、協同組合への期待の高まりなど、新しい価値観への模索も始まり、地域共生社会に向けた地道な実践も広がっています。そして、この間の奨学金制度改善などの社会的運動、ライフサポート事業、生活困窮者自立支援など広げてきた様々なネットワークは、私たちの大きな財産となっています。

これらを次の運動にどうつなげ、超少子・高齢・人口減少や技術革新など社会の変化も見据えつつ、連帯・協同を軸に据えた社会への展望をどう切り残していくのか。ぜひとも、様々な場でご議論いただき、それらを集約しながら、確信をもってこれからの運動を進めていけるようなビジョンを、みんなで作っていきましょう！



福岡県知事  
小川 洋

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の皆さまには、日ごろから労働者福祉の向上にご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

わが国の経済が緩やかに回復している中、福岡県は、それよりもさらに先を進み、景気は緩やかに拡大しています。雇用も、有効求人倍率は1.58倍と最高水準で推移し、就業者数もこの1年間で47,000人増えました。

今年は、まず被災地の復旧・復興を加速させます。そして、各地域で雇用を増やし、元気福岡県をより一層元気にし、一方で県民に寄り添う、温かみのある行政に力を入れていきます。そのために県内雇用の約8割を担い、県経済の発展と活力の原動力である中小企業の振興を図るとともに、結婚、育児、就職などライフステージに応じたきめ細かな支援、女性が活躍できる環境の整備、70歳現役社会づくりを推進してまいります。

福岡県を「日本海側の、かつ、アジアを向いた一大拠点」として成長させ、九州をけん引し、わが国のバランスの取れた発展に貢献してまいりますので、引き続き、貴協議会のご支援、ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

新年が皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。



九州労働金庫福岡県本部  
榎原 正実

新年明けましておめでとうございます。多くの皆さんに支えられていることに改めて感謝申し上げます。

日銀の「マイナス金利政策」の続くなか、今までにない厳しい金融情勢の中、九州労働金庫は、第6期中期経営計画で掲げたスローガン「つながるろうきん～「はたらく人」につながる・「地域社会」につながる・「未来」につながるろうきん」をめざして取り組んでいます。はたらく人にとっても身近な金融機関として、会員との連携を深めて、組合員のニーズに合わせた提案型営業の推進を強化し、組合員の生活設計・生活改善・生活防衛のとりくみを推進してきました。

本年も「会員・組合員のお役に立つろうきんへ」「すべてのはたらく人のお役に立つろうきんへ」「地域社会のお役に立つろうきんへ」の3つのとりくみをもとに、会員と協働した「しあわせ創造運動」を積極的に展開し、福祉金融機関としての社会貢献活動を展開していきます。私を含めた役職員一同、労働金庫としての姿勢や仕事を厳しく見つめなおし、また新たな気持ちでチャレンジし続けたいと決意しているところです。

2019年が会員、組合員およびご家族のみならず、そしてすべてのはたらく人にとって良い年になることを祈念申し上げて年頭のご挨拶とします。今年もどうぞよろしくお願い致します。



全労済福岡推進本部  
本部長 佐田 正二

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、全労済の諸活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、ここ数年においてもっとも多くの自然災害が発生し、多くの組合員の皆さまが被災された厳しい1年でした。

全労済では、被災された組合員への一日でも早い共済金のお支払いに向け、9月中旬に「非常事態宣言」を発表し、全国での支援動員体制を構築しました。

今年は災害のない一年でありますことを心から願ってやみません。

さて、全労済は2018年8月に開催された全労済総会で2018年度からの4年間を対象とした「New-Zetnetwork（中期経営政策）」を確認しました。全労済の理念である「みんなですすめあい、豊かで安心できる社会づくり」を基本とし、さまざまな環境の変化に対し「お役立ち発想」と「共創活動」で柔軟・機敏な対応をすすめ、事業・運動を展開する「Zetworkスタイル」を創りあげていくことといたしました。

これからも組合員・協力団体の皆さまにお役立ちができますよう「共感・参加・信頼」による価値観を共有化し、より魅力的な「保障の生協」を目指して、福岡推進本部役職員一丸となって努力を続けてまいりますので、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



福岡県生協連  
会長理事 堤 新吾

あけましておめでとうございます。

新年の始まりにあたって、改めて昨年7月に起こった西日本豪雨で被災された皆さん、そして一昨年の九州北部豪雨で被災された皆さんにお見舞いを申し上げたいと思います。

まだまだ復興は道半ばという状況ですが、一日も早い復興を願い、県生協連としても、また各単協としても引き続き復興支援に取組んでいきたいと思っています。

また、日ごろから生協活動へのご理解とご協力で感謝申し上げます。

生協では、ますます進む少子高齢化に対応すべく、高齢の組合員には、毎週の商品宅配とあわせて、夕食の宅配サービスなどにも取り組み、少しでも安心して暮らしていけることに寄り添えるよう取り組んでおります。一方、少子化の影響で人口の絶対数自体が大きく減少している子育て層やファミリー層といわれる方たちには、WEB環境の整備やSNSなども活用しながら、スマホで生協に参加してもらえるような取り組みも展開をしてきているところです。

今年も引き続きそうした取り組みを展開していく中から、地域で元気に暮らしていける環境づくりにお役に立てるよう努力していきたいと思っています。

福岡県労働者福祉協議会の皆様には生協活動へのご理解とご協力を本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



北九州総合労働会館  
理事長 渡野 齊二

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、北九州総合労働会館(通称:真鶴会館)の事業運営に対しまして事業団体、労働団体をはじめ、会員各位の皆様方に、ご支援とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

真鶴会館は、耐震について非常に頑強との診断結果が出ていますし、冷暖房装置も一新、照明もLEDに替えるなど、室内環境も向上させています。

2年半前から大衆演劇の宝劇場に入居いただき、今までとは違う活気もでてきています。ただ、5階の全てを劇場に、4階の半分を楽屋に使用しているため、今までご利用いただいていた皆様にご不便をおかしていることを心苦しく存じています。

そのこともあり、貸し会議室としての利用は減少してはいますが、謝恩会や展示会等、会議以外の様々な使い方を皆様のお知恵により広めていただいたことや、カルチャー講座を増設し、ご利用の方も増えてきています。今後共、皆様からのお問合せや、様々な使い方等のお申し込みをお待ちしております。

また、真鶴会館は一般社団法人として社会貢献も求められており、経営的には厳しい状況は続いておりますが、入館いただいております事業団体・労働団体の皆様をはじめ、勤労者・市民の皆様が安心して快適にご利用いただけますよう従業員一丸となって、最大限の努力をしてまいり所存でございます。今年も引き続き、真鶴会館に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



#### 北九州地域労働者福祉協議会

会 長 幸 野 直 通  
事務局 長 遠 藤 慎 幸  
職 員 森 谷 尚 美

#### 遠賀川地域労働者福祉協議会

会 長 柴 田 典 利  
事務局 長 寒 竹 準 一  
職 員 大 庭 菜 摘

#### 筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会

会 長 中 山 啓 一  
事務局 長 原 豊  
職 員 丸 山 よし子

#### 南筑後地域労働者福祉協議会

会 長 丸 山 正 治  
事務局 長 本 田 賢 治  
職 員 浦 濱 明 美

#### 京築・田川地域労働者福祉協議会

会 長 多 田 敏 明  
事務局 長 安 藤 正 宣  
職 員 萩 野 勢 津子

#### 福岡地域労働者福祉推進協議会

会 長 石 堂 高 大  
事務局 長 桑 原 忠 志  
職 員 桑 野 小 代里

#### 北筑後地域労働者福祉協議会

会 長 鹿 田 哲 哲  
事務局 長 西 田 修 三  
職 員 良 永 礼 子

#### ライフサポートふくおか

事務局 長 木 村 洋 三  
事務局 員 寺 山 早 苗

# 2018福岡県民 さわやかマラソン大会開催!

今年で18回を迎える2018福岡県民さわやかマラソン大会が、11月25日(日)、福岡市東区西戸崎の「海の中道海浜公園 特設コース」において開催されました。

当日は、寒空でありましたが晴天で絶好のマラソン日和となり、大会参加者も1,797組のエントリーがあり、遠くは北海道から4名の参加がありました。

大会は多くの家族・応援者からマラソン参加者へ熱い声援が「海の中道海浜公園 特設コース」に響き渡り、熱戦が繰り広げられました。

なお、今大会には、多くのボランティアスタッフの皆さん、そして多くの企業・労働組合・団体等の協賛をいただき、運営を支えていただきましたことに厚く感謝申し上げます。



## 福 祉 募 金

日頃のご支援に感謝申し上げます  
本年も何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

取組期間：2018年12月1日～2019年3月31日

【目的】心身ともにハンディキャップを背負いながらも、自立と社会参加をめざす人達の福祉向上と、支援の輪を広げていくことを目的とします。

2017年度の取組みでは  
8,071,576円の浄財を  
集約し、県内の施設へ必  
需品を寄贈しました。

平成三十一年 元月	お願い申し上げます	職員	理事	専務理事	副理事長	副理事長	理事長	一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会役員
		小森山	山田安桑 口島藤原 紀健	西寒本遠原中堤坂矢小 藤村本崎陳 正亞正忠修準賢禎 一矢	藤吉	佐山	梶原	
		子	一	子	二	二	実	

## 一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.rofuku.net/> [メールアドレス] [rofuku@h8.dion.ne.jp](mailto:rofuku@h8.dion.ne.jp)

ろうふく協 NEWS  
vol.158

発行 2019年1月10日  
発行人 西村 芳樹  
編集 藤吉 誠二